

サイト別活動報告

大阪工場



東野工場長



所在地：大阪市鶴見区鶴見1丁目1-9
 設立：1936年11月
 敷地面積：33,590m²
 従業員(研究所含む)：社員270名、協力会社員61名

大阪工場は大阪市東部の鶴見区に所在し、主に関西地区の顧客を対象とした生産拠点であり、1936年の操業以来、時代の要望に対応した設備の新設や更新を行いながら稼働しています。また、大阪研究所が同じ敷地内にあり、開発された新製品の立上げ工場としての役割も担っています。環境側面においては大阪研究所を含む大阪事業所として環境管理システムを運用し、省エネルギーや廃棄物削減などの環境負荷低減活動を実施しています。

2009年は物流の合理化とCO₂削減を目的に大型立体倉庫の建設を行いました。本倉庫の稼働によってこれまで3カ所に分散していた保管場所を統合することができ、ト

ラック輸送やリフト作業に伴うCO₂の発生を大幅に削減することが可能となりました。また研究部門では、環境に優しい新製品の商品化を実現しています。2010年度も環境負荷低減に向けたさまざまな施策を目標に掲げ、積極的に取り組んでいきます。

当工場は住宅地が隣接する都市型の工場であり、臭気や騒音に配慮しながら地域社会に役立つ工場としてさまざまな活動や地域との交流に努めています。70年余りの歴史のある工場であり、今後も地域と共存できる工場を目指していきます。

●環境パフォーマンス(研究所含む)

インプット	エネルギー	電力(GWh)	7.4
		化石燃料(千kl)	2.2
	合計(千kl原油換算)	4.1	
水資源	水道水(千m ³)	29.0	
	工業用水(千m ³)	109.7	
	地下水(千m ³)	0.0	
原材料(千t)		18.6	
アウトプット	大気への環境負荷	CO ₂ (千t)	7.2
		NOx(t)	3.0
		SOx(t)	0.3
		PRTR物質(t)	1.3
水域への環境負荷	COD(t)	4.1	
	SS(t)	3.2	
	排水(千m ³)	83.5	
	PRTR物質(t)	0.0	
産業廃棄物	社内発生量(t)	4,005.0	
	工場排出量(t)	880.0	
	うちPRTR物質移動量(t)	133.3	
	最終埋立場量(t)	24.0	
製品(千t)		33.2	

●工場トレンド(研究所含む)

■CO₂ 排出量



■エネルギー使用量



■廃棄物発生量



私たちの温暖化対策

配管やバルブのエアリーク箇所の調査と修理を徹底

従来、週初めのスタートアップ時に、計装用エアが設定圧力に到達するまで時間がかかりすぎることから、配管やバルブなどのエアリーク箇所の調査と修理を徹底的に行いました。月曜日のスタートアップ時に全員でエアの漏れる音を探し出し、配管接続部の漏れ箇所には密閉用シール材の巻き直しやガスケットの交換を行いました。また、製造の合間に、自動弁や電磁弁の分解整備などを自分たちで実施した結果、漏れ修繕箇所は合計32カ所にも上りました。さらに配管ルートを短くするバイパス配管の更新も実施しました。

対策後は計装用エアの昇圧時間が短縮されると同時に、安定圧力が上昇したことから設定圧力を下げることができ、電力使用量の削減にもつながったほか、自分たちで漏れ修繕やフロー図を作成したことにより設備への愛着と理

解が深まりました。

漏れを放置せず、小さな不具合への対策の積み重ねが大きな省エネの成果につながりました。将来は配管径を拡大するなどにより、さらなる省エネ活動を進めていきます。



紹介者：久幾田 伸二



計装用エアの点検風景